

私のすすめるこの1冊

『つながる脳』

泉 恵美子(英文学科 教授)

藤井直敬 著

過去10年、日本は「脳の世紀」の掛け声とともに、記憶や意思決定など高次認知機能に関わる脳科学が進歩し、身近な所でも脳トレ、脳の活性化、脳内物質など脳科学への関心が高まっています。私も研究分野がコミュニケーションや言語習得でもあることから、認知科学や、脳科学にも大変興味があり様々な書物を読んできましたが、今回お勧めする『つながる脳』は、これまで私が抱えてきた様々な疑問や好奇心に十分に答えつつ、新たな知見をも示してくれるすぐれた1冊です。また、池谷裕二氏や茂木健一郎氏も絶賛され、第63回毎日出版文化賞、自然科学部門を受賞！と聞くと是非とも、読んでみたくなるのではないのでしょうか。

「脳科学はヒトを幸せにできるのか」といったテーマのもの、様々なトピックが取り上げられています。これまでに脳科学が歩んできた道と4つの壁、筆者自身が長年取り組まれてきた二頭のサルを用いた社会性脳研究の開始と成果、社会的意思決定と適応機能のメカニズムの解明、脳機能から見た社会の仕組みの解明などが誰もが分かるように明解に述べられ、抑制こそ社会性の根本であるといったくだりでは思わずうなってしまう。研究者としての苦悩や喜びが等身大で述べられており共感もできますし、研究の

ヒントもさりばめられており、引き込まれます。賢い生き物はヒト以外にもたくさんいるのだと例示したり、ココロや情動の問題も取り上げられています。話題となった「心の理論」や「ミラーニューロン」にも根拠を持って疑問を投げかけていき、結局はファンタジーかもしれないとする真理探究への更なる姿勢と情熱が今後の脳科学への期待感を与えてくれます。

現在は仮想空間という実験場での取り組みや、アバターを用いた身体性の研究をはじめ、ブレイン・マシン・インターフェイス(BMI)の進展に伴い、脳と外部の関係性が変わり、将来はBMIを用いた脳と脳のコミュニケーションが実現され、ヒトとヒトの関係性をも変えることにつながっていくのではないかという、とてつもない未来への可能性を示してくれます。最終章では、ヒトと社会の関係性を扱い、ヒトはどのような時に幸せを感じるのかといった実験から、リスペクトがつなげる世界を実現すべきではないかといったメッセージも発せられます。

この本を通して、脳科学の面白さを感じるとともに、未知なるものへ挑戦する世界の素晴らしさを味わっていただければと思います。

『つながる脳』 著者：藤井直敬 発行者：NTT出版 発行年：2009年

ISBN：978-4-7571-6042-2 2200円 所蔵有り(配置場所：開架南館1階 491.371/F 57)

図書館からのお知らせ

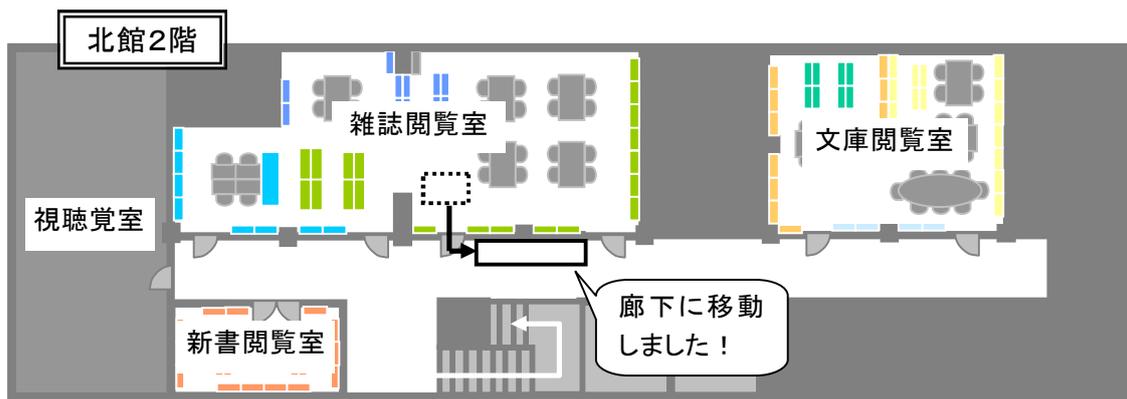
私のすすめるこの1冊コーナー

図書館ニュースで紹介された本を一堂に集めたこのコーナー、入館ゲートのすぐそばに設置中です。どうぞご覧下さい！



パンフレットの書架を移動しました

北館2階の雑誌閲覧室内にあったパンフレット用書架を、雑誌閲覧室前の廊下に移動しました。美術館や研究所の広報誌などを配架しているコーナーです。ぜひ手にとって見て下さい。なお、利用が終わったら必ず元の場所に戻して下さい。



製本中の雑誌があります

現在、一部の雑誌について、複数の巻号をまとめて合冊する製本作業を行っています。2009年度を中心に、利用できない巻号がありますのでご注意ください。製本中かどうかは、OPACで確認することもできます。

<OPACでの確認方法>

保健の科学.
1巻1号 (昭34.1)- - 杏林書院, 1959. <ZV

一括所蔵一覧
2件の一括所蔵があります。

No.	配置場所	配置場所2	巻号
0001	雑誌書庫 和雑誌	新着分は北館2F雑誌閲覧室	1(5-12), 2-4, 5(1-8), 6-25, 33(3-12), 34-51, 52(1-8)+
0002	研究室配置雑誌		26-48

巻号の数字をクリックすると各巻の詳細情報が表示されます。「状態」欄が“製本中”の巻号は現在利用できません。
※クリックしても、未製本や製本中の巻号が表示されない雑誌もあります。詳しくは図書館員に確認して下さい。

夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対 象	院 生 ・ 教 職 員	学 部 生
貸出期間	7月9日(金)～9月6日(月)	7月23日(金)～9月21日(火)
貸出冊数	12冊	7冊
返却期限日	10月4日(月) 忘れずに返却しましょう!!	



※卒業予定者の返却期限は9月10日(金)です

*延長については次項を参照のこと

※視聴覚資料は除きます

※長期貸出図書については、貸出の延長はできません

一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください

※一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません

(9月末で修了予定の方へ) 有効期限の延長について

2010年9月30日(木)で本学を修了する予定の科目等履修生・研究生・特別聴講生の方は、貸出可能な有効期限が9月10日(金)までとなっているため、返却期限日も9月10日になっています。忘れずに返却してください。

ただし、9月10日以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月30日まで延長することが可能です。カウンターにて手続きを申し込んで下さい。

なお、図書館への入館・閲覧については、9月30日まで可能です(手続き不要)

スポーツ・運動学分野の海外論文データベース "SPORTDiscus with Full Text" 無料トライアルは9月29日までです！ぜひこの機会にご利用下さい！

※図書館トップページの右側「雑誌・データベースを探す」から
"EBSCOhost" をクリックしてご利用下さい。学内限定です。



～ 図書館開館スケジュール ～

2010年 9月

日	月	火	水	木	金	土
			1 休	2 ●	3 ●	4 ▲
5 休	6 ●	7 ●	8 ●	9 ●	10 ●	11 ▲
12 休	13 ●	14 ●	15 ●	16 ●	17 ●	18 ▲
19 休	20 ●	21 ●	22 ●	23 ●	24 ●	25 ▲
26 休	27 ●	28 ●	29 ●	30 ●		

2010年 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1 ●	2 ▲
3 休	4 ●	5 ●	6 ●	7 ●	8 ●	9 ▲
10 休	11 ●	12 ●	13 ●	14 ●	15 ●	16 ▲
17 休	18 ●	19 ●	20 ●	21 ●	22 ●	23 ▲
24 休	25 ●	26 ●	27 ●	28 ●	29 ●	30 ▲
31 休						

<カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

9月1日、10月6日は館内整理のため休館

“スクールカウンセラーが授業に関わることについての実践研究”

— 教員と行った「人との関わり方を学ぶ」授業をとおして — 内田利広 青山昌代

内田利広 (教育学科 准教授)

京都教育大学紀要 No. 116 p. 99-111 2010年3月

本論は、青山氏が行ったスクールカウンセラーにおける授業の実践を紹介し、カウンセラーが学校教育に果たす役割について検討したものである。

現在、学校では多様な地域の人材等を教育の現場で活用しようとする動きがあるが、その中でも全国の全ての中学校に配置されているスクールカウンセラーについては、心の専門家として児童・生徒へのカウンセリングをはじめ、教員へのコンサルテーションや研修などに活用されているが、授業の補助として、その専門性を生かすことも可能であると考えられる。

本論では、青山がスクールカウンセラーとして派遣されている学校において、文科省の委託事業である「性教育の指導に関する実践推進事業」の一環として、“コミュニケーションと性教育”とテーマで授業を行ったものである。

授業は、小学5年生を対象として、性教育につながる相互のコミュニケーションづくりを目的として実施された。授業計画の段階からスクールカウンセラーが関わり、コミュニケーションスキルを高めるための方法として、構成的グループエンカウンターが取り上げられている。

構成的グループエンカウンターは、子ども同士のコミュニケーションを円滑にする効果があると考えられており、さらに自己肯定感も高まると考えられた。授業でのエクササイズ(課題)は、自分の「願い」を短冊に書いてクラスメートに見せる自己開示や周りからの肯定的なメッセージをもらう自己理解・他者理解に関するものであった。

授業そのものは担任を中心に、スクールカウンセラーとTTという形で行われたが、カウンセラーの持つところの専門家としての知識や技法などは、学校教育において有効に活用できる資源であり、今後このような実践が広がっていく可能性が示唆されている。

今後、教員をめざす皆さんにとっては、一つの授業づくりの実践例として参考にして頂きたいと思えますし、特に心理学や対人関係に興味のある人は、スクールカウンセラーとの連携により、このような少し異なった視点・専門性からの授業が可能であることの参考になると考えられるので、ぜひ一読をお勧めします。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 116号に掲載されています。

後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> に掲載予定です。

● 京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

● 携帯版図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

下記のQRコードからもアクセスできます



京教図書館 News No. 120 (2010年9月号)

発行日：平成22年9月1日

編集発行：京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学